

緑の風 FAX版

NO. 21
2015年11月2日
JR東労組
本部情宣部

憲法改悪反対！歴史認識を明確にし、「平和政策」を実現させる11・1大集会開催！

「平和政策」を実現するため 2000名を超える組合員が日比谷へ結集！



青年部が練り上げた「平和政策」が福田青年部長からたしろかおる参議院議員へ手渡され、実現に向けて共にたたかうことを確認しました！



青年部 50 名による合唱隊がオープニングで「リメンバー・ヒロシマ・ナガサキ」を熱唱



中国・平頂山惨案記念館周館長（右）より日中友好の絆を更に深めようと記念品が贈られました



11月1日、日比谷公会堂で開催された集会では、青年部が中心となって創りあげてきた4つのプロジェクト（ベトナム平和研修、沖縄、花岡事件、脱原発）から学んできたことを提言し、JR東労組の歴史認識を明確にして練り上げた『平和政策』をたしる参議院議員へ託し、共に実現に向けて取り組むことを確認しました。

また、中国より平頂山惨案記念館・周館長が本集会に参加し、「平和研修でJR東労組が創りあげてきた労働者の連帯こそが戦争の抑止力に繋がり、平和な社会を実現する力になる」と述べ、集团的自衛権による武力行使は戦争の抑止力にならないことが明確になりました。

私たちは、憲法改悪、徴兵制反対！安保法廃止！国家の枠を超えた“労働者の連帯”によって平和な社会を実現するために、たしろかおる参議院議員と共にたたかいを創り出そう！



平頂山事件パネル展では、日本軍が犯した蛮行について歴史の事実を広めることができました。